

科目名	書道 I	学科・学年・学級	普通科・1学年・全クラス
		単位数	2単位（週2時間）
使用教科書・副教材等		〔教科書〕書 I（光村図書）	

1 学習目標

- 書道の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高めるとともに、表現に対する豊かな感性と芸術を愛好する心情を養います。
- 書道や芸術文化への理解を深め、主体的な学習態度を身に付けるとともに、生涯芸術を愛好する心情を養います。

2 学習方法

書道 I では、生涯にわたって書道を愛好し、書道と共に心豊かな人生を過ごすための基礎作りに取り組みます。表現することの楽しみはもちろん、書字原則など生活に関わる様々な分野の表現に触れ、鑑賞することで文化や表現の多様さを学んでいきます。書道を通して、自分の心を見つめ、感性を豊かにし、表現する喜びや感動を味わえるように積極的に参加しましょう。

3 学習評価

(1) 評価の観点と方法

評価 観点	評価の観点	評価の方法
書への 関心・意欲・態度	書道への興味・関心を持ち、意欲的・主体的に表現や鑑賞・技能の習得をし、その喜びを味わおうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・課題の提出状況 ・作品制作への取組状況
書表現の構想と工夫	よりよい表現を求め、構想を練り、創造的に創意工夫する姿勢を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作の内容 ・自己評価の内容
創造的な書表現の工夫	書道の表現の豊かさや美しさを感じ取り、創造的に表現する技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作の内容 ・自己評価の内容
鑑賞の能力	多様な表現に興味・関心を持ち、美しさを味わっているか。書道の文化的背景を十分に理解し、主体的に鑑賞しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞プリントの内容 ・相互評価の内容 ・鑑賞の感想の内容

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、作品制作、授業態度、課題の提出状況を総合して行います。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均して行います。

4 学習のポイント

- 道具の準備や予習課題をして、授業に臨んでください。
- 実技や実習においては、主体的な態度で積極的に学習してください。

5 学習計画(予定)

月	学 習 項 目	学習のねらい	学 習 活 動
4	オリエンテーション 漢字の書 (楷書)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習上の心構えと概説について理解します。 ・習字と書道の違いについて理解します。 ・起筆、送筆、収筆の意味と書の線について理解します。 ・文字の太さや形などバランスを意識して制作します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、学習方法についての確認をします。 ・初唐の三大家の書について学びます。 ・楮遂良の書から筆の抑揚と粘り強さを学びます。 ・北魏の書の特徴と線の力強さや息の長さを学びます。 ・顔真卿の楷書について学び作品と作者との関係を学びます。
5			
6			
7	漢字の書 (行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の違いについて理解します。 ・行書の流れと息遣いが生み出す美しさを理解します。 ・作者の精神性が作品と密接に関わっていることを理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序を臨書し、行書の息遣いと文字の構成や筆順の変化を学習します。 ・行書の機能性や連綿について学びます。 ・争坐位稿を臨書し、呼吸の雄大さを学びます。 ・風信帖を臨書します。
9			
10	漢字の書 (創作)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい言葉と表現を発見できるように意識して制作します。 ・意図を効果的に打ち出せる表現方法を工夫します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字二文字の創作を制作し、その過程で表現の多様性を学習します。 ・制作を通して自分自身と対話することを学びます。
11	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の仮名古筆を臨書し、日本独特の表現と美意識について理解します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高野切を臨書し、仮名の用筆法や空間の取り方を学習します。
12	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の創作を通して、書の表現の奥深さを味わい、書としての呼吸の大切さを理解します。 ・素材となる文章を味わい、作者のイメージに自分のイメージを重ね、適切な表現方法を模索します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和方法について学習します。 ・文字の大小、字間や行間、墨量といった要素によって変化する表現効果について学習します。 ・紙面への効果的な構成法について学習します。 ・作品を鑑賞し、制作意図との関係を探ります。 ・制作します。 ・鑑賞をします。
1			
2	まとめ		
3			